

（目的）

本研修プログラムでは、厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」の一環として選定された「造血幹細胞移植推進拠点病院」において、地域の造血幹細胞移植医療体制の底上げを図るため、造血幹細胞移植に係わる人材を育成する。

（1）移植コーディネーター研修コース

1.

目標

1.1. 一般目標

造血幹細胞移植に関する専門的な知識を習得し、患者（家族）、血縁ドナー（候補者）へ安心して安全な医療を提供することができる移植コーディネーターを目指す。また、日本造血細胞移植学会認定コーディネーター取得に必要な実績を積み、各施設に即した移植コーディネーターの役割を考え、実践につなげることができるコーディネーターを目指す。

1.2. 行動目標

- 1) 移植適応となる血液疾患について説明することができる
- 2) 造血幹細胞移植について説明することができる
- 3) 造血幹細胞移植患者（家族）への意思決定支援、移植源の準備、退院後のサポートに関する一連の支援ができる
- 4) 骨髄採取・末梢血幹細胞採取の方法、リスク、リスク回避の方法について、患者、及びドナー（候補者）に説明することができる
- 5) ドナー（候補者）へ、必要な情報を提供し、意思決定支援することができる
- 6) ドナー担当医とともにドナーの適格性を判断することができる
- 7) 院内外の関係部署の業務や役割を知り、連絡調整、スケジュール管理をすることができる
- 8) 造血幹細胞移植に関する最新の情報をアップデートすることができる

1.3. 学会認定移植コーディネーター規定

日本造血細胞移植学会のホームページを参照

<http://www.jshct.com/organization/senmoni/index.shtml>

2. プログラム

2.1. プログラム指導者と施設

- 1) プログラム指導責任者
血液内科・部長 内田直之（造血細胞移植認定医、血液専門医）
血液内科移植コーディネーター 成田 円
（造血細胞移植学会認定移植コーディネーター、看護師）
- 2) 施設：虎の門病院血液内科病棟および外来

2.2. 指導体制

血液内科で、造血細胞移植認定医・血液専門医取得スタッフ、専門性の高いメディカルスタッフ等が中心となって指導を行う。指導責任者は定期的に研修目標達成の進捗具合を確認し、適切に研修が進んでいるかチェックする。

2.3. 研修期間

随時受け入れ可能

2.4. 研修方法

- 造血幹細胞移植患者を担当し、一連のコーディネート過程を実践し、習得する。
- 移植カンファレンス、多職種合同カンファレンスに参加し、チーム医療の実践方法を習得する。
- コーディネートに関する IC の同席や、患者（家族）及びドナーコーディネートに関する面談日程以外の時間を調整し、下記（2.6）のセミナーを受ける。

2.5. 週間予定

	午前	午後
月	セカンドオピニオン外来	移植後 LTFU & 予防接種外来
火		チャート回診・多職種合同カンファレンス*（毎週） 骨髓鏡検会（毎週）
水	セカンドオピニオン外来	新入患者カンファレンス（毎週） 研究カンファレンス（毎週） 抄読会（**）
木	病棟回診	移植後 LTFU & 予防接種外来
金		

（*）多職種合同カンファレンス：多職種による移植カンファレンスに参加し、チーム全体で実施する全人的医療を習得する。

（**）抄読会：血液腫瘍学の診断および治療の最新のエビデンスを学ぶ

2.6. セミナー（造血細胞移植学特論）

1)	造血細胞移植の適応
2)	移植前準備・評価
3)	ドナーソースの選択
4)	同種造血細胞移植の経過（ドナーソース別）
5)	同種造血細胞移植の合併症
6)	自家造血細胞移植
7)	長期フォローアップ
8)	移植コーディネーターの役割（独自のものも含む）
9)	同種造血細胞移植のチーム医療 1 病棟 （クリーンルームでのポイント）
10)	同種造血細胞移植のチーム医療 2 病棟 （移植前・一般床でのポイント）
11)	同種造血細胞移植のチーム医療 3 メンタルサポート
12)	同種造血細胞移植のチーム医療 4 口腔管理
13)	同種造血細胞移植のチーム医療 5 リハビリテーション
14)	同種造血細胞移植のチーム医療 6 栄養管理・指導
15)	同種造血細胞移植のチーム医療 7 薬剤指導
16)	同種造血細胞移植のチーム医療 8 輸血・幹細胞保存
17)	同種造血細胞移植のチーム医療 9 退院への支援
18)	同種造血細胞移植のチーム医療 10 移植後看護外来
19)	移植登録一元管理プログラム（TRUMP）